

美保中学校区義務教育学校 基本設計書 (概要版)

清水・ケーアイ特定設計業務共同企業体

目次

1・概要

1-1	基本設計コンセプト	・・・・・・G01
1-2	計画概要	・・・・・・G02～06
1-3	外観イメージ	・・・・・・G07～08

2・建築計画

2-1	配置計画	・・・・・・G09
2-2	平面計画	・・・・・・G10～11
2-3	立面計画	・・・・・・G12
2-4	動線計画	・・・・・・G13
2-5	普通教室レイアウト	・・・・・・G14
2-6	図書室・メディアセンターレイアウト	・・・・・・G15
2-7	コミュニケーションラウンジレイアウト	・・・・・・G16
2-8	こども園レイアウト	・・・・・・G17～18
2-9	アリーナレイアウト	・・・・・・G19～20

1) はじめに

本計画は、崎津小学校、大篠津小学校、和田小学校並びに美保中学校を廃止し、米子市では初めてとなる施設一体型の美保中学校区義務教育学校を設置する校舎整備に加え、同敷地内に崎津保育園及び小鳩保育園の2つの公立保育所を統合した認定こども園を設置し、幼保小中連携型の施設整備を行うものである。市の教育方針及び教育理念を踏まえて、新しい時代にふさわしい子どもたちの安心安全な施設の創造を行う。

2) 設計コンセプト

①「ふるさと」をつなげる

- ・ 児童・生徒と地域住民の交流を促す建築計画で、地域連携の促進を図る。
- ・ 内装や家具に県産木材を使用し、地域産材の活用を積極的に行う。
- ・ 米川沿いの並木や田畑がつくる風景との調和に配慮し、敷地外周は可能な限り緑化に努める。

②「未来」へつなげる

- ・ 省エネ及び創エネに配慮し、エコスクールの整備に努める。
- ・ 建設コストの削減に努めるとともに、耐候性を考慮した外装材を採用するなど、ライフサイクルコスト低減にも配慮する。
- ・ 建物外周にメンテナンスバルコニーを設置、設備機器の塩害対策など、維持管理対策を行うことで建物の長寿命化を図る。

③「学ぶ楽しさ」をつなげる

- ・ 一斉指導による授業だけでなく、グループ学習や少人数指導、異学年との合同授業など、多様な授業形態に対して柔軟で創造的な学習空間の実現を図る。
- ・ メディアセンターを中心に大階段や吹抜けでタテのつながりをつくとともに、授業や休憩時に自由に利用できる交流スペースを各フロアに設けることで、異学年交流の促進に配慮する。
- ・ 園舎棟と校舎棟をつなぐ「屋根付き開放廊下（交流の架け橋）」によって、園児と児童・生徒が交流できるきっかけをつくる。
- ・ 1人1台端末、大型掲示装置の利用に対応できるゆとりある教室サイズで計画し、GIGAスクール構想に対応したICT環境の整備を行う。

④「健康と安心」をつなげる

- ・ 木材利用により、子どもたちの記憶に残るような、温かく健康的な空間づくりに努める。
- ・ 校区内の様々な方向から通学する児童・生徒のため、歩車分離に配慮した配置計画を行う。
- ・ LGBTQに配慮したトイレなど、ユニバーサルデザインに配慮した計画を行う。

1) 事業の概要

①小学校及び中学校の廃止と義務教育学校の設置

美保中学校区において、児童・生徒数が減少傾向にあり、一部の小学校で複式学級になることが予見された。このような状況の中、子ども達にとってどのような教育環境が最も良いのかという観点から、協議・検討した結果、崎津小学校、大篠津小学校及び和田小学校並びに美保中学校を廃止し、新たに義務教育学校を設置するもの。

②保育所統合・廃止と認定こども園の設置

本市の公立保育所については、子ども達のためにより良い保育環境を整え、地域の子育て支援の拠点として整備するとともに、今後の人口減少社会を踏まえ、施設の統合・集約化を図ることとしている。美保中学校区にある崎津保育園及び小鳩保育園はいずれも築40年以上経過していることから、両園を廃止し、新たに幼保連携型認定こども園を整備するもの。

③幼保小中連携型の施設整備

認定こども園と義務教育学校の連携を進める取り組みとして、同一敷地内に一体的に施設を整備することで、幼保小中連携型の施設整備を行う。

2) 整備方針

①義務教育学校新築

- ・ 校舎棟、アリーナ棟及び部室棟を新築する。
- ・ 校舎棟にはなかよし学級のほか、地域開放エリアを設け、セキュリティ配慮して整備する。
- ・ グラウンドは200mトラックを確保し、テニスコートや屋外施設他と共に整備する。
- ・ 学校施設面積 約12,500㎡程度

②認定こども園新築

- ・ 幼保連携型認定こども園の設備運営基準に合致した施設を整備する。
- ・ 園庭も上記基準に合致すると共に、屋外施設等も整備する。
- ・ 子育て支援室を併設し、整備する。
- ・ 保育施設面積 約1,500㎡程度（利用定員90名）

③その他

- ・ 園庭およびみんなの広場を囲む、屋根付き開放廊下（交流の架け橋）棟を新築する。
- ・ 通学路及び観覧スペースとなる、屋根付き開放廊下（観覧スペース）棟を新築する。

3) 特定テーマ方針と計画方針

テーマ①学校施設、保育施設、地域について

- ・学校施設全体を学びの場として考え、多様な学習活動を展開出来る施設環境 : 開放的なメディアセンターや読書を誘発する階段ベンチなど、教室+αの学習環境も積極的に確保する。
- ・1人ひとりの個性や主体性を大切に、落ち着いた生活を送ることが出来る保育施設 : 保育室は十分な広さを確保するとともに、日照に配慮して南東向きに配置し快適な環境を確保する。
- ・学校、認定こども園、地域が支えあい協働していくための共創空間 : 学校と認定こども園の間に地域交流エリアを配置し、日常的な交流・協働を促す。
- ・認定こども園と義務教育学校の連携・接続を深めることができる施設環境 : 学校と認定こども園を一体的に整備するとともに、屋外施設として屋根付き開放廊下（交流の架け橋）を整備する。

テーマ②安心・安全かつ長期的利用が可能な施設について

- ・児童生徒、園児、職員の安全・人権に配慮した施設 : 敷地外周はフェンスや植栽等を設置しセキュリティを確保する。トイレはLGBTQに配慮した整備を行う。
- ・将来の教育・保育活動の変化に対応が可能な室の区画及び仕上げ等 : 間仕切りや仕上げはメインフレームと分けて整備し、将来の間取り変更に対応しやすい計画とする。
- ・施設の維持管理や将来の改修等が行いやすい施設 : 建物外周にメンテナンスバルコニーを設置するとともに、耐候性・耐久性の高い仕上げを採用することで施設の長期利用を可能にする。

テーマ③環境地域に配慮した施設について

- ・ライフサイクルコスト低減及び環境に配慮した施設整備 : 建物や設備機器に対する長寿命化や省エネルギー対策によってライフサイクルコストの低減を図る。
- ・県産材を活用し、地場産業の活性化 : 内装材や家具等に県産木材を使用することで、日常的に木に触れることができる温かい空間を目指す。

テーマ④その他について

- ・多様な使い方が可能な交流空間 : 屋根付き開放廊下（交流の架け橋）は、バスや送迎の寄り付きスペースや園庭の日除けスペースなど、多様な使い方ができる施設として整備する。
- ・合理的で災害に負けない構造計画 : 学校および認定こども園は耐震性、耐火性、遮音性を考慮して、メインフレームをRC造で計画する。
- ・景観および風景への配慮 : 米川沿いの並木と周辺の田畑の風景に配慮し、敷地外周は可能な限り緑化に努める。普通教室は、象徴的な大山への眺望を確保した配置とする。

4) 敷地条件・周辺環境

□敷地概要

- ・所在地：鳥取県米子市大崎字中之砂及び葭津境内
- ・敷地面積：45,963.88㎡
- ・用途地域：都市計画区域 市街化調整区域
用途地域指定なし
- ・防火地域：指定なし
- ・建ぺい率：70%（法53、54の2）
- ・容積率：400%（法52）

□前面道路

- ・南西側道路：市道 大崎東31号線 幅員5.2m（大崎東31号線）
- ・南東側道路：市道 大崎東27号線 幅員1.8m（大崎東27号線）
- ・北東側道路：市道 米川左岸2号線 幅員4.0m
- ・北西側道路：県道 米子環状線 幅員15.0m（葭津和田町線（和崎かけはし通り））

□周辺環境

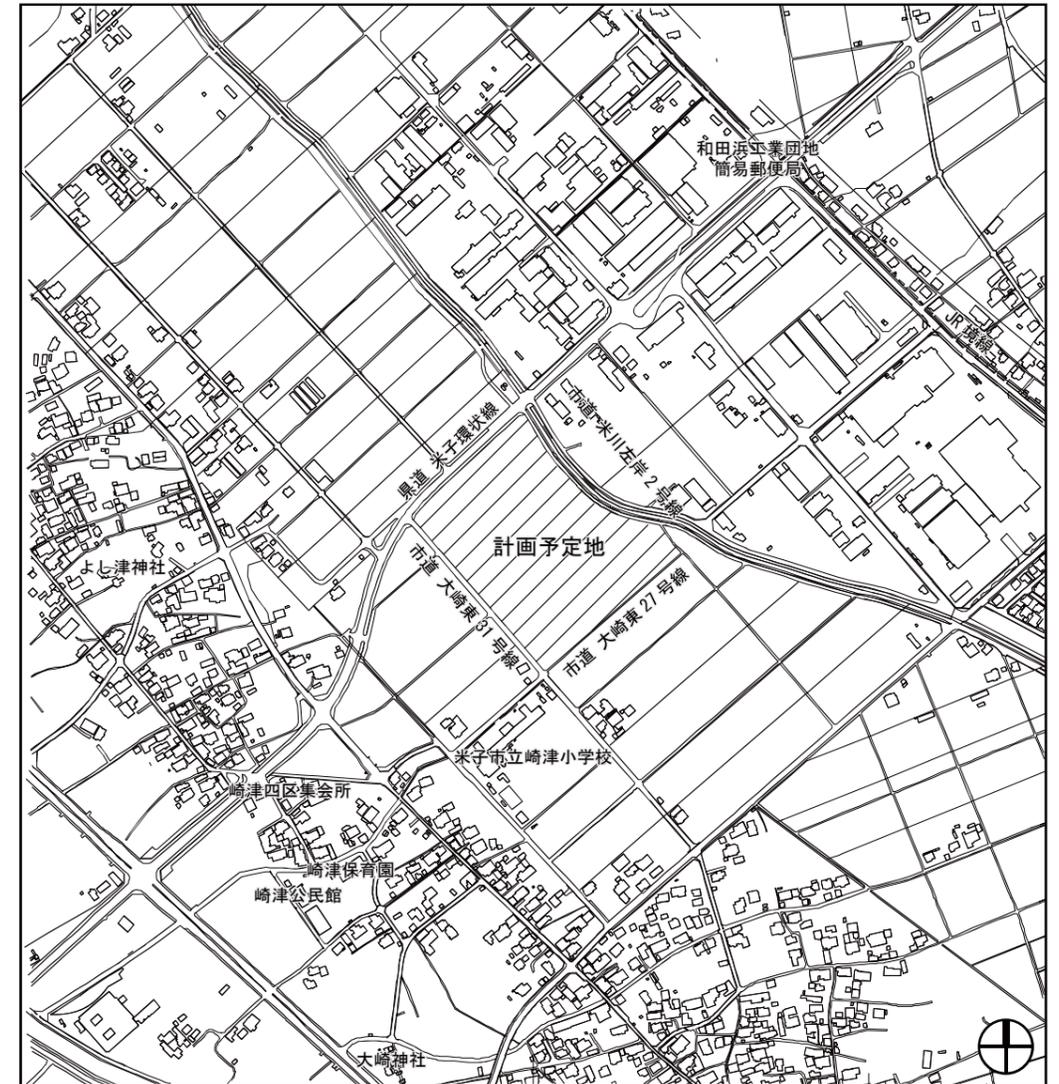
- ・周辺は田畑に囲まれており、建物は比較的少ない。
- ・北東には米川と自転車道が平行しており、並木が形成されている。
- ・南西の市道には歩道がないが、交通量が少ない。北西の県道には両側に歩道がある。
- ・敷地南東側に大山が見える。

□周辺施設

- ・敷地南側には崎津小学校が、南西には崎津保育園が位置する。
- ・航空自衛隊美保基地及び米子空港が付近にある。



周辺施設配置図
(米子市都市計画図を基に作成)



5) 施設概要

□認定こども園概要

施設名称：米子市崎津・小鳩こども園（仮称）

施設用途：幼保連携型認定こども園

施設規模：・園児数 90名

・クラス数 5クラス

年齢（人数）	クラス数
1歳児 (9)	1
2歳児 (9)	1
3歳児 (24)	1
4歳児 (24)	1
5歳児 (24)	1

・職員数 27名

園長1、副園長1、主幹保育教諭1、保育教諭15、調理員8、養護教諭1

施設条件：・面積 1,500㎡程度

・保育室、ほふく室 5室

・遊戯室 1室

・プレイルーム 1室

・職員室 1室

・相談室 1室

・給食調理室 1室

・調理員休憩室 1室

・調理員更衣室 2室

・職員更衣室 2室

・職員休憩室 1室

・WC

・飲料水用設備

手洗い用設備及び足洗用設備

・園舎内設備

放送聴取設備、映写設備、園児清浄用設備、プール（組立式）

・園庭

幼保連携型認定こども園の設備運営基準に合致した面積以上を備える

・屋外施設

外構、植栽、遊具、及び駐車場

・子育て支援室

教育・保育目標：様々な生活体験を通して、心身ともに豊かでたくましく生きる
子どもの育成をめざす

めざす子どもの姿：・生活や遊びに意欲的に取り組む子ども

・自分の思いや考えを表現できる子ども

・身近な人に親しみ、豊かな感性を持つ子ども

・基本的な生活習慣を身に付けた子ども

年齢別重点目標：・1歳児 安心できる保育者等との関係の下で、
好きな遊びを見つけ生き生きと遊ぶ

・2歳児 保育者等との安定した関わりの中で、生活や遊びを楽しむ

・3歳児 保育者等や友達との関わりを通じ、
自分の気持ちを言葉や行動で表現する

保育者等の手助けを受けながら、
身の回りのことを自分でしようとする

・4歳児 保育者等や友達との関わりを深め、一緒に活動する楽しさを味わう

自分でできることに喜びを持ち、
生活に必要なことを進んでしようとする

・5歳児 様々な体験を通して、友達とのつながりを深め、
主体的に園生活を進める

生活や遊びの中で、必要な生活習慣を身に付ける

□なかよし学級概要

施設名称：美保中学校区なかよし学級（仮称）

施設用途：公設放課後児童クラブ（児童福祉法第6条3の第2項）

施設規模：・児童数定員 80名

・クラス数 2クラス

・職員数 6名

施設条件：・面積 約200㎡程度

□義務教育学校概要

施設名称：米子市美保中学校区義務教育学校（仮称）

施設用途：義務教育学校

施設規模：・児童生徒数 419名

・学級数 26クラス（令和5年5月1日時点 令和10年度の想定）

区分	学年（人数）	学級数
前期課程	1年生 (37)	2
	2年生 (31)	2
	3年生 (43)	2
	4年生 (35)	2
	5年生 (60)	2
	6年生 (56)	2
	特別支援 (※)	4
	合計 (262)	16

区分	学年（人数）	学級数
後期課程	7年生 (49)	2
	8年生 (48)	2
	9年生 (60)	2
	特別支援 (※)	4
	合計 (157)	10

※特別支援学級の児童生徒数は、開校時点の支援の必要な児童生徒数による

・職員数 46名ほか

校長1、副校長1、教頭1、主幹教諭1、教諭34、養護教諭2、栄養教諭1、事務職員2、学校司書1、学校主事1、ALT1、その他数名

施設条件：・面積 12,400㎡程度

・普通教室 18室

・予備教室 9室

（可動間仕切り等で2室に分割可能。学校の状況に応じて、特別支援学級教室、通級指導教室、多目的ルーム等としての運用を想定。）

・特別教室 14室

理科室2（準備室含む）、音楽室2（準備室含む）、図工室1（準備室含む）、美術室1（準備室含む）、被服室1（準備室含む）、調理室1（準備室含む）、技術室1（準備室含む）、メディアセンター1（図書室+ICT教室）、校内サポート室1、給食配膳室1、多目的ホール1、地域交流室1

・管理諸室 15室

職員室1（事務室含む）、校長室1、共同事務室1、保健室1、放送室1、印刷室1、給湯室1、会議室1、更衣室2、相談室5

・教材室 5室

・メモリアルコーナー

・共有スペース

交流スペース、コミュニケーションラウンジ ほか

・屋内運動場

ステージ、メインアリーナ、サブアリーナ、武道場、器具庫4、更衣室2、休憩室、WC

・部室 12室

・外部倉庫

・外部WC

・グラウンド

大グラウンド（200mトラック、球技場、サッカー場、軟式野球場）、小グラウンド、テニスコート（2面）

・屋外施設

外構、植栽、遊具、学年園、駐輪場、及び駐車場

学校教育目標：ふるさと美保を愛し 互いにつながり学びあい
未来を切り拓く グローバル人材の育成

めざす子どもの姿：・多様な他者とよりよくかかわり、主体的・自治的に課題を解決していく子
・夢や目標をもち、多様な方法で学び続ける子
・ふるさと美保に誇りをもち、地域に貢献しようとする子
・心身ともに健康でたくましく、自他の命を大切にする子

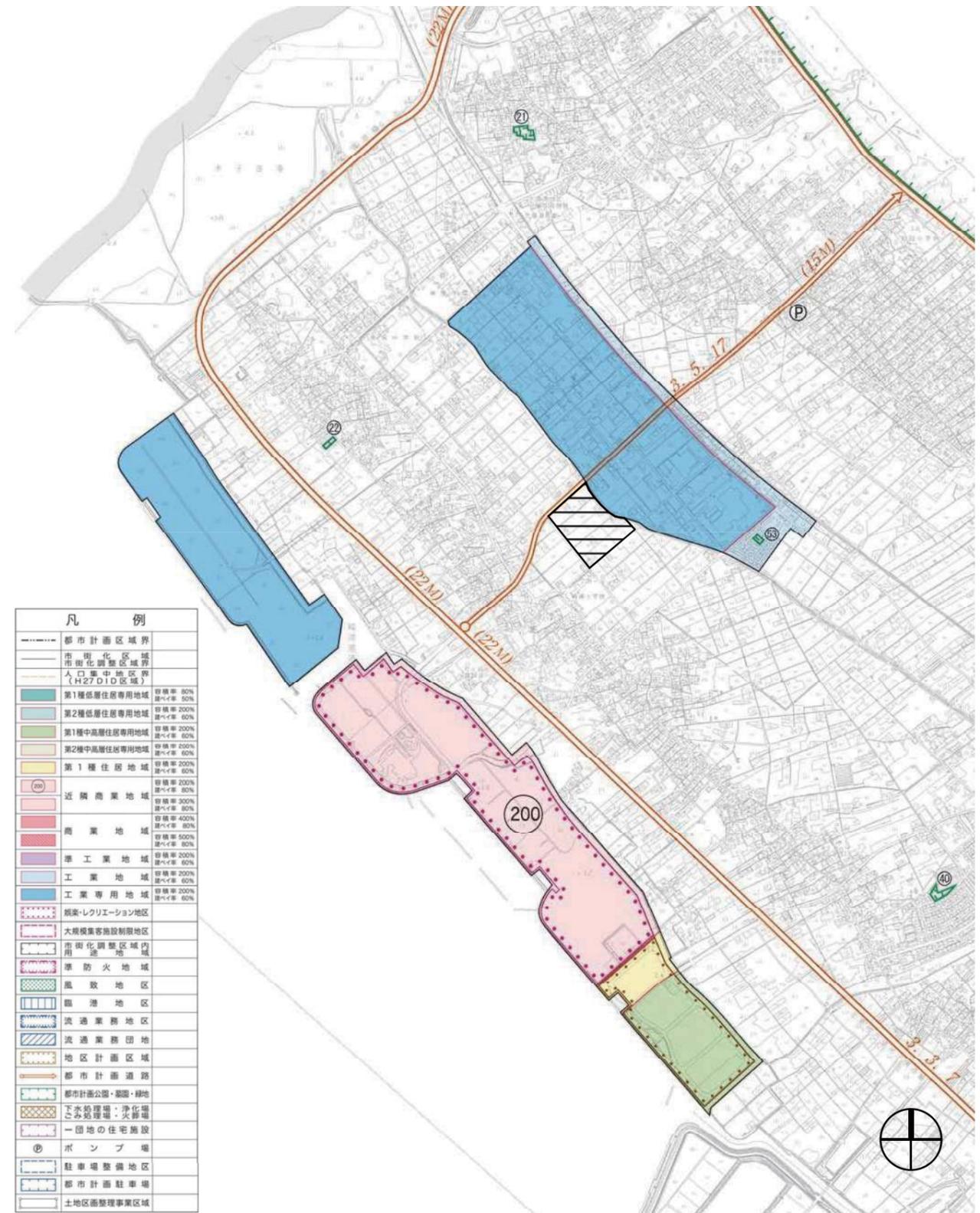
6) 関連法規概要

□都市計画法・建築基準法関係

- ・都市計画：都市計画区域内（市街化調整区域）
- ・用途地域：対象外
- ・容積率：400%
- ・建ぺい率：70%
- ・防火地域：指定なし
- ・斜線制限：道路（×1.5）、隣地（×2.5+31m）
- ・日影規制：任意検討（高さ10mを超えるため）

□その他準拠法令

- ・消防法（昭和23年法律第186号）
- ・就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）
- ・鳥取県認定子ども園に関する条例（平成18年鳥取県条例第76号）
- ・学校教育法（法第1条、第81条）
- ・児童福祉法（法第7条、第39条の2）
- ・鳥取県福祉のまちづくり条例（平成20年鳥取県条例第2号）
- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号）
（バリアフリー新法）
- ・建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律（平成27年法律第53号）
- ・建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）
- ・建設リサイクル法（平成12年法律第104号）
- ・景観法（平成16年法律第110号）
- ・土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）

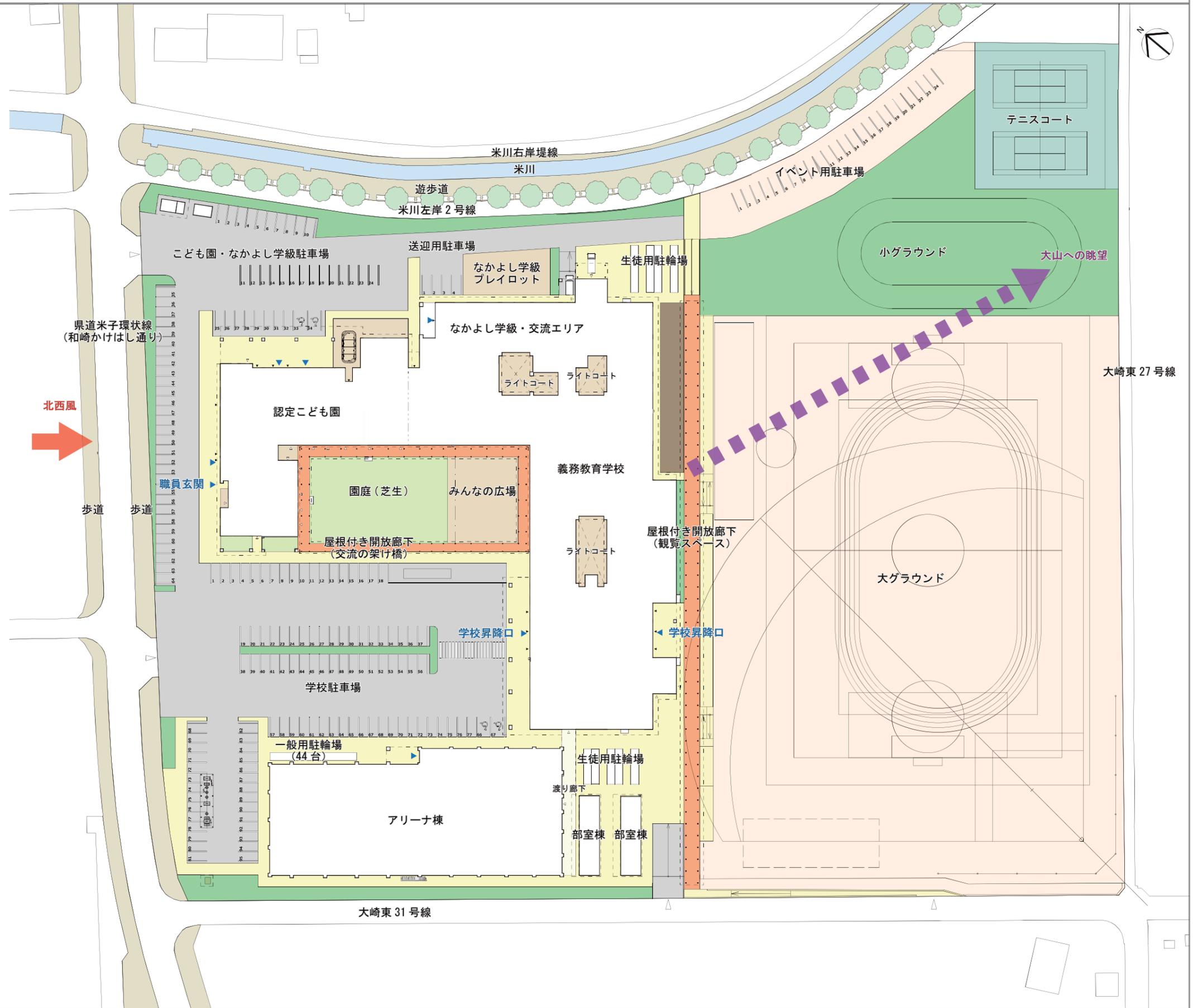


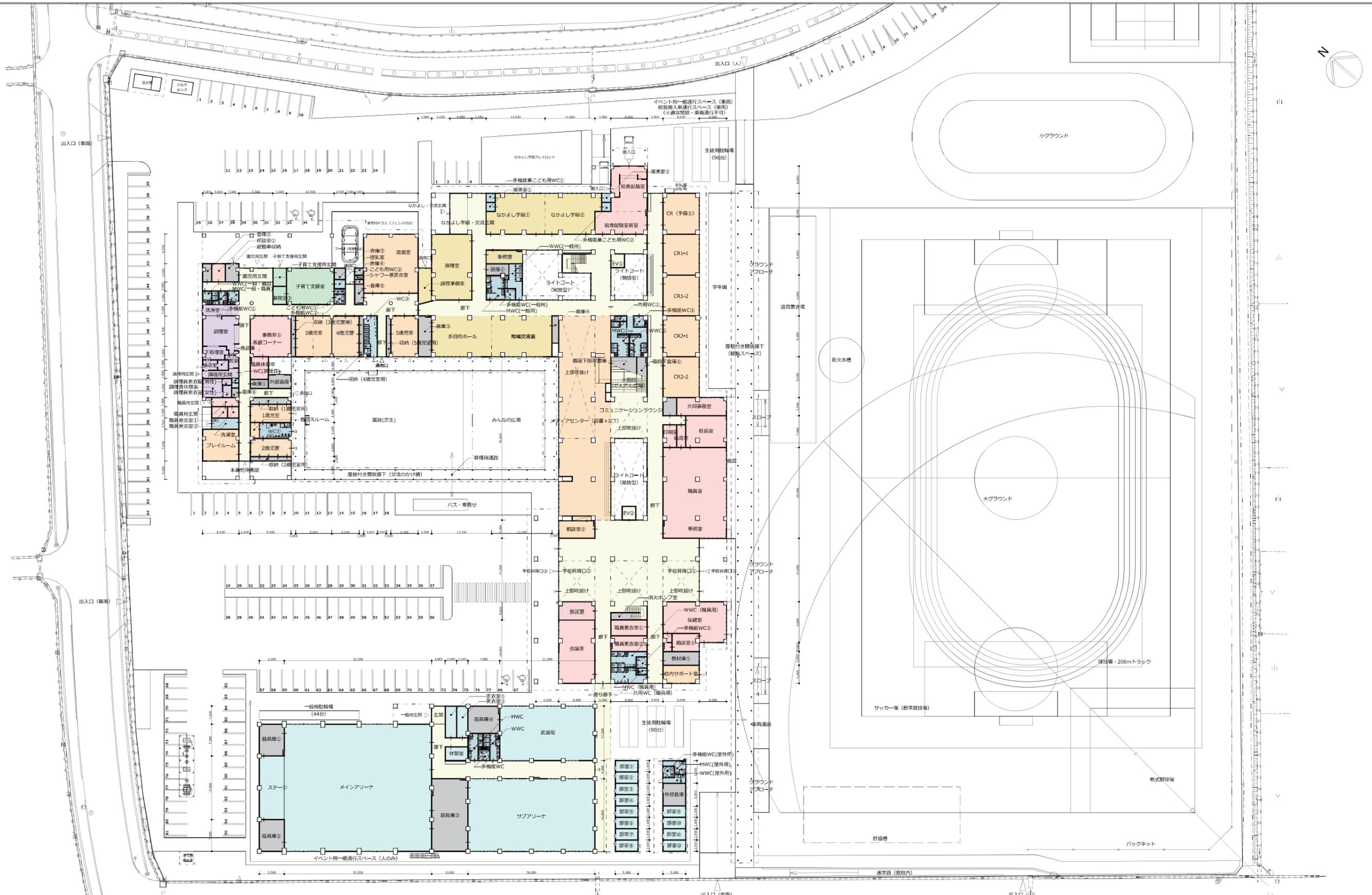




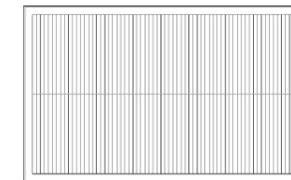
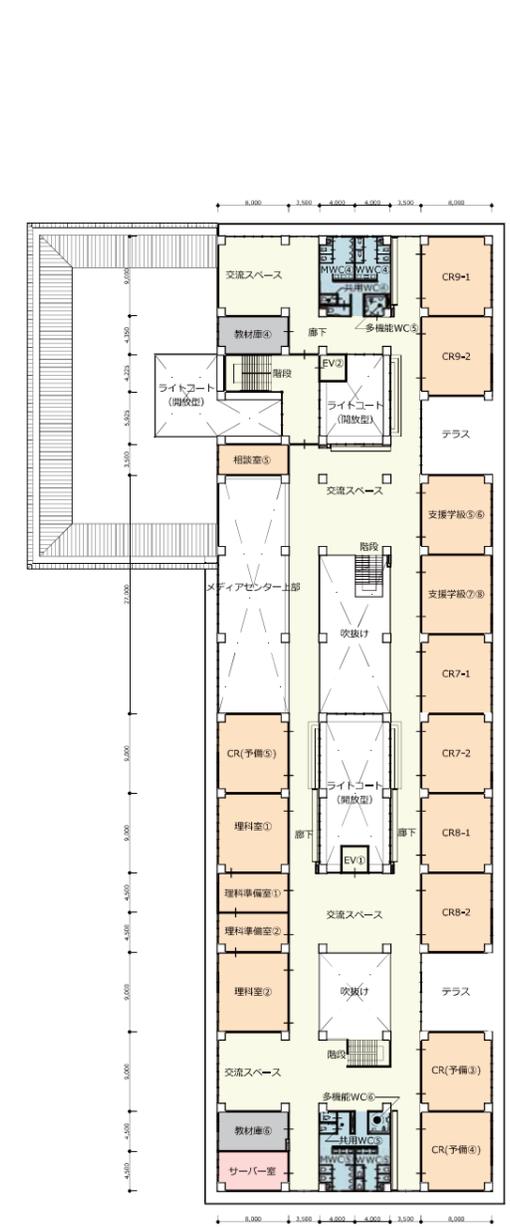
□基本方針：安全で快適な環境を確保し、
交流を育む施設配置

- ・児童生徒、園児、教職員及び地域住民の日常的な交流・連携を促すため、校舎と園舎の間に交流エリアを配置し、一体的に計画する。
- ・屋外の交流空間として屋根付き開放廊下（交流の架け橋）を整備し、園庭とひろば、校舎と園舎をつなぐ。
- ・アリーナ棟及び部室棟は体育エリアとして集約し、使いやすく連携しやすい配置とする。
- ・駐車場を県道環状線（通称：和崎かけはし通り）側に集約し、市道側から車が入りしないう配慮する。
- ・車通りの多い和崎かけはし通りと校舎は距離を取り（駐車場を配置）、走行音などの騒音による音環境の悪化を抑止する。
- ・北西風から園庭やグラウンドを守るように、こども園及び校舎を配置する。
- ・日当たりや大山への眺望に配慮し、校舎棟は南東面に間口を広く確保する。園舎棟はL型に配置し、南面からの日当たりを確保する。





1階平面図兼配置図



□基本方針：気候・風土に配慮した、シンプルで明快な施設

- ・北西風による砂埃の影響を考慮し、塵溜まりの少ないディティール及びシンプルな立面計画とする。
- ・ボリュームのある校舎棟は、和崎かけはし通りから後退させ、まちへの圧迫感を抑える。
- ・内外から人がよりつく屋根付き開放廊下は、高さを抑え親しみやすい空間となるよう配慮する。
- ・普通教室のある南東面は、日照の確保や大山への眺望に配慮し、開口部を大きくとる。

□景観形成基準に対する配慮

- ・周辺の景観と調和し、全体としてまとまりのある形態及び意匠とする。
- ・屋上設備、壁面設備等は露出させないようにし、やむを得ず露出させる場合は、建築物等本体及び周辺の景観と調和した形態及び意匠とする。
- ・周辺の景観と調和した色彩とする。



北西立面図



南東立面図



南西立面図



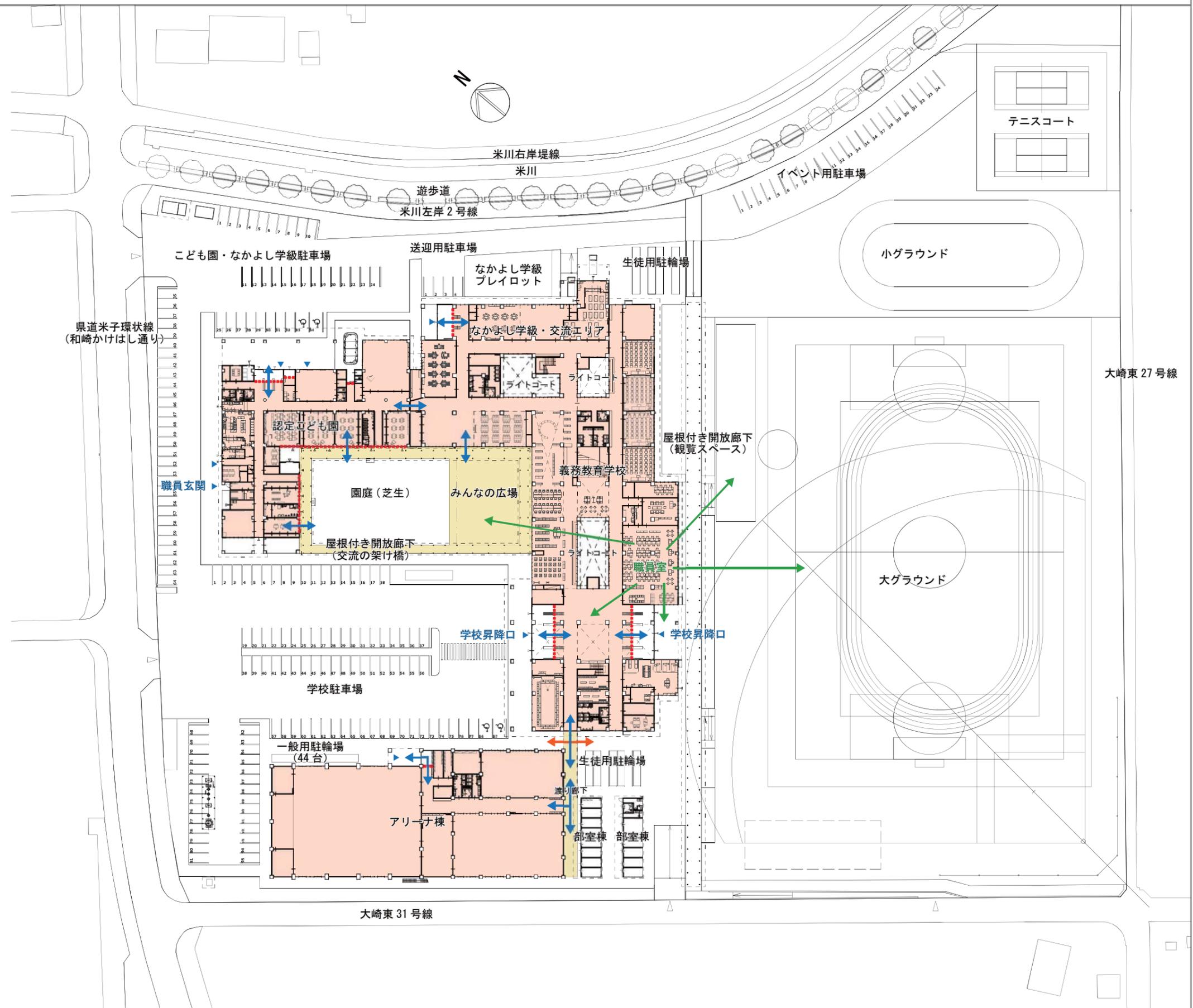
北東立面図

□内部動線計画

- ・こども園と義務教育学校は一体的に計画することで、履き替えなしで園児・児童生徒が行き来できる動線計画とする。
- ・校舎棟からアリーナ棟へは履き替え無しで行き来できるようにするとともに、学校駐車場側からグラウンド側へは履き替え無しで行き来できる動線も確保することで、利便性の向上を図る。
- ・みんなの広場は上足でも利用できる仕上とすることで、校舎内外の連携を深め、児童生徒と園児・地域住民との交流を促進する。
- ・職員室はグラウンドやみんなの広場、昇降口を見守りやすい位置に配置し、各教室からの動線が短くなるよう、階段に近い位置に設ける。

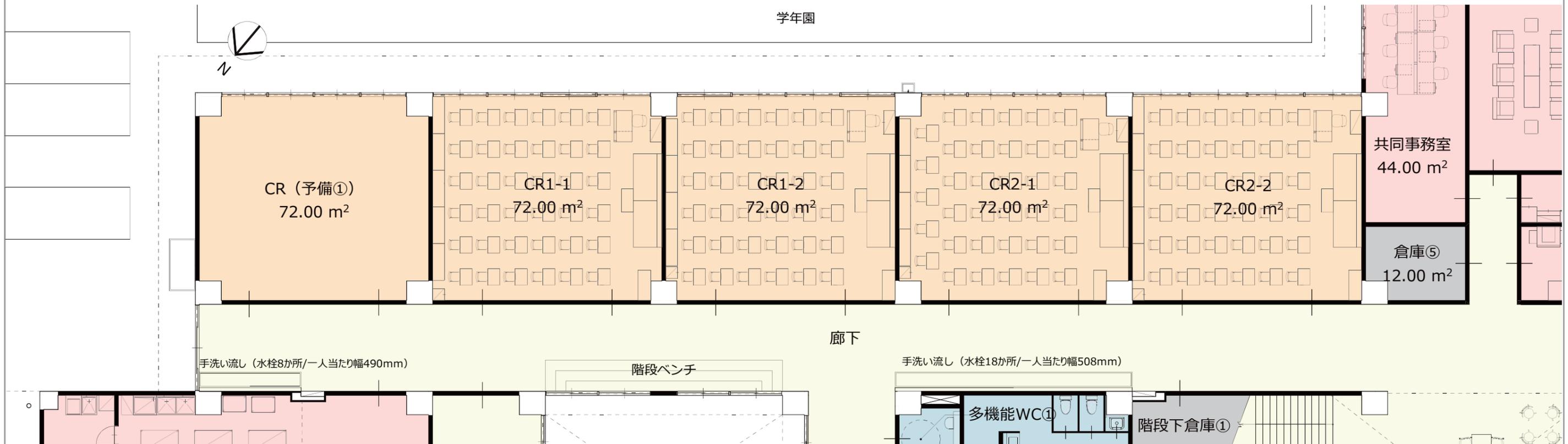
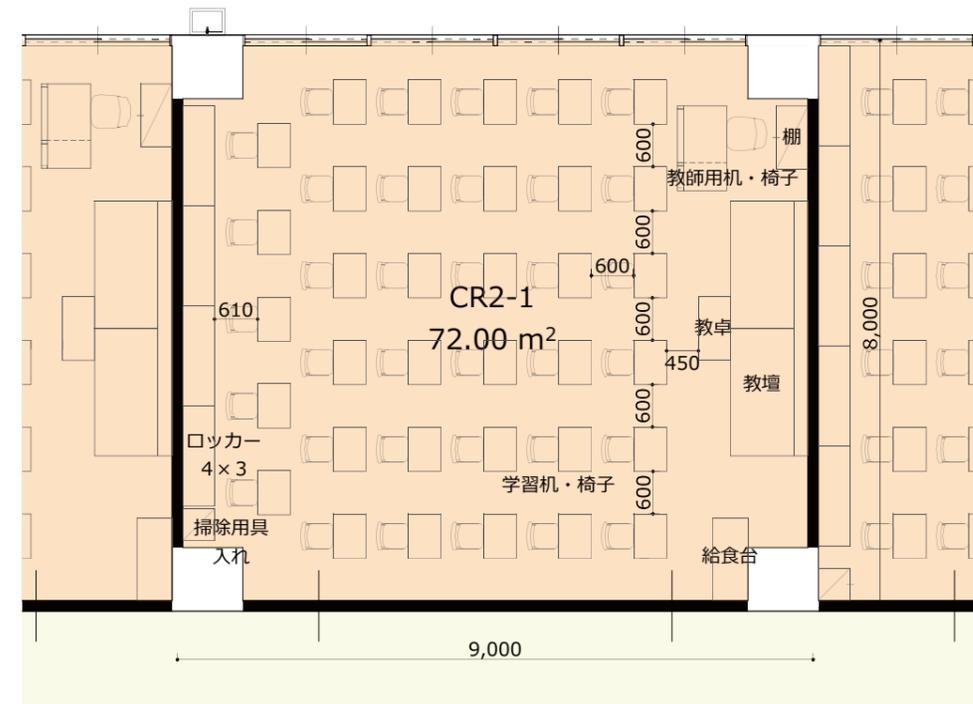
凡例

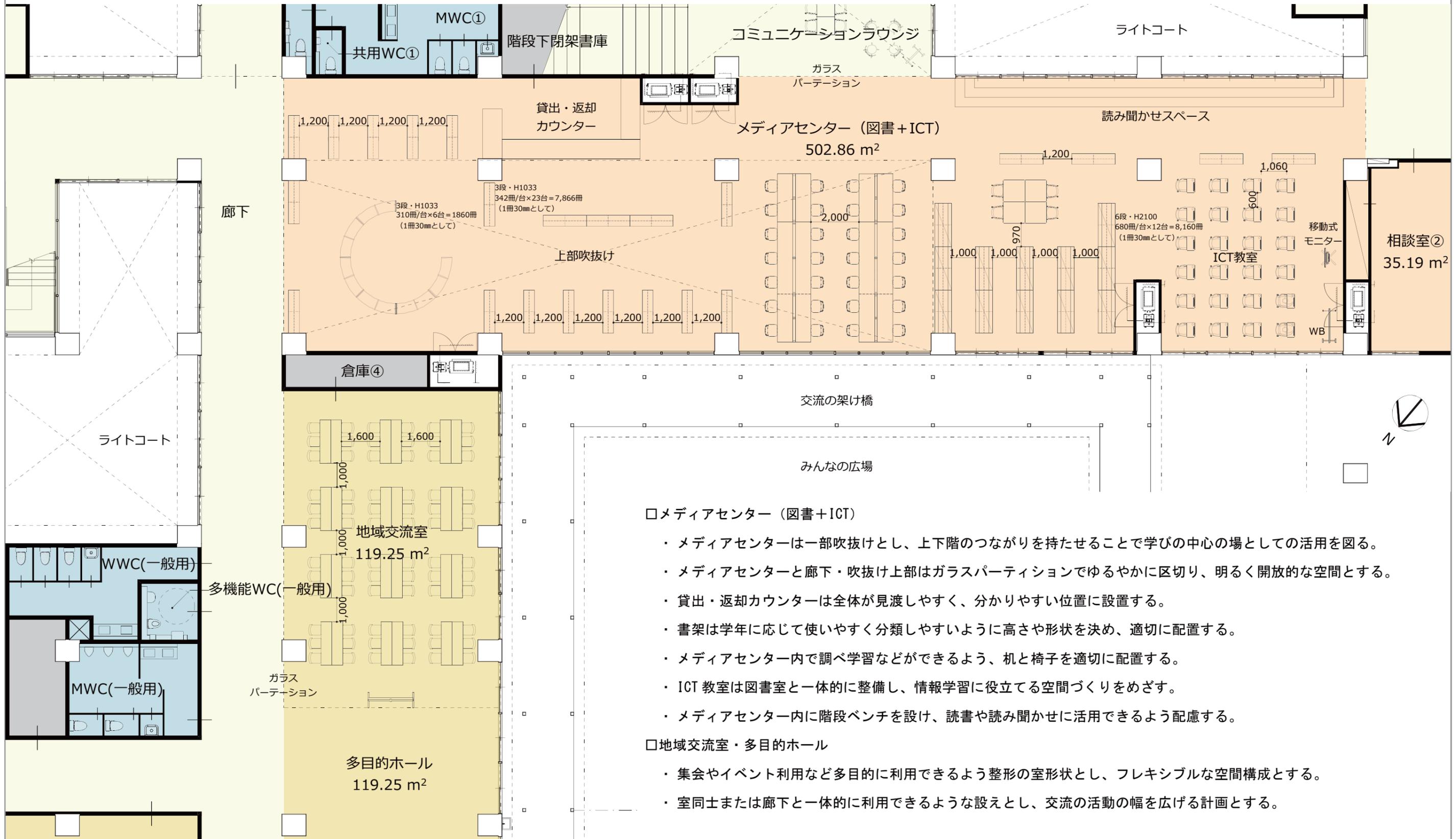
- 上足
- 上足・下足兼用（運用にて使い分け）
- 上下足履き替えライン
- 利用者動線
- 通り抜け動線
- 視線（見守り）



□普通教室

- ・ GIGA スクール構想に対応するため、1人1端末を置けるサイズの机を採用し、机サイズに合わせて教室を間口9m×奥行き8mで計画する。
- ・ロッカーは30人以上が使える数量を確保する。
- ・普通教室と同じ並びに同サイズの予備教室を設置し、将来的なクラス数の変化や通級指導にも活用できる計画とする。
- ・手洗い流しは、児童生徒の同時利用時にも混雑が生じないよう、十分な数量を確保する。
- ・児童生徒の休憩や憩いの場として、廊下に階段状のベンチを設置し、交流のを促進を図る。





□メディアセンター (図書+ICT)

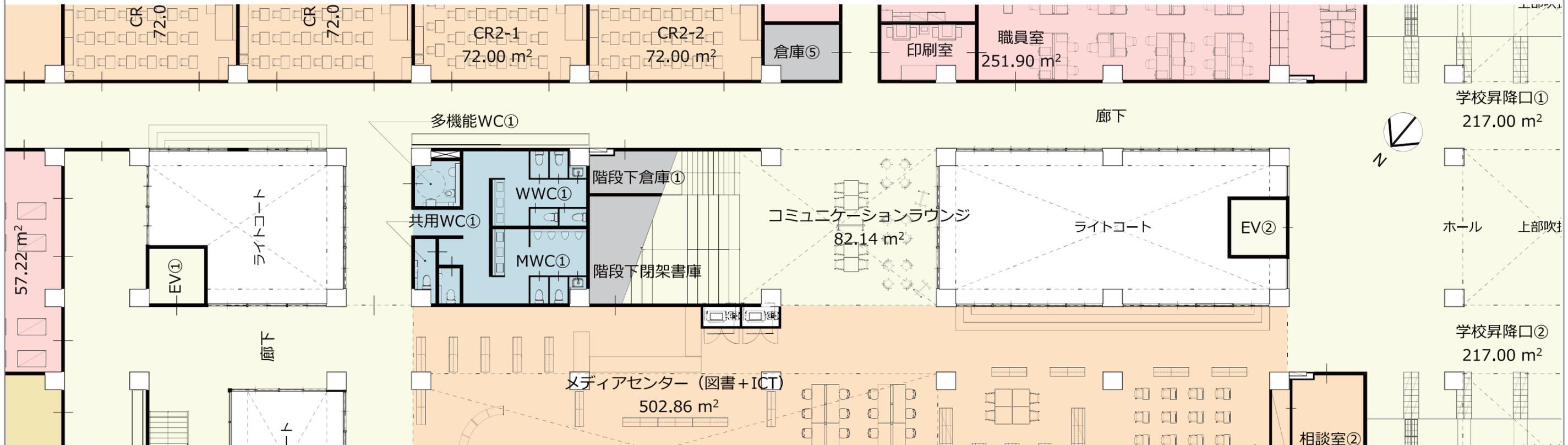
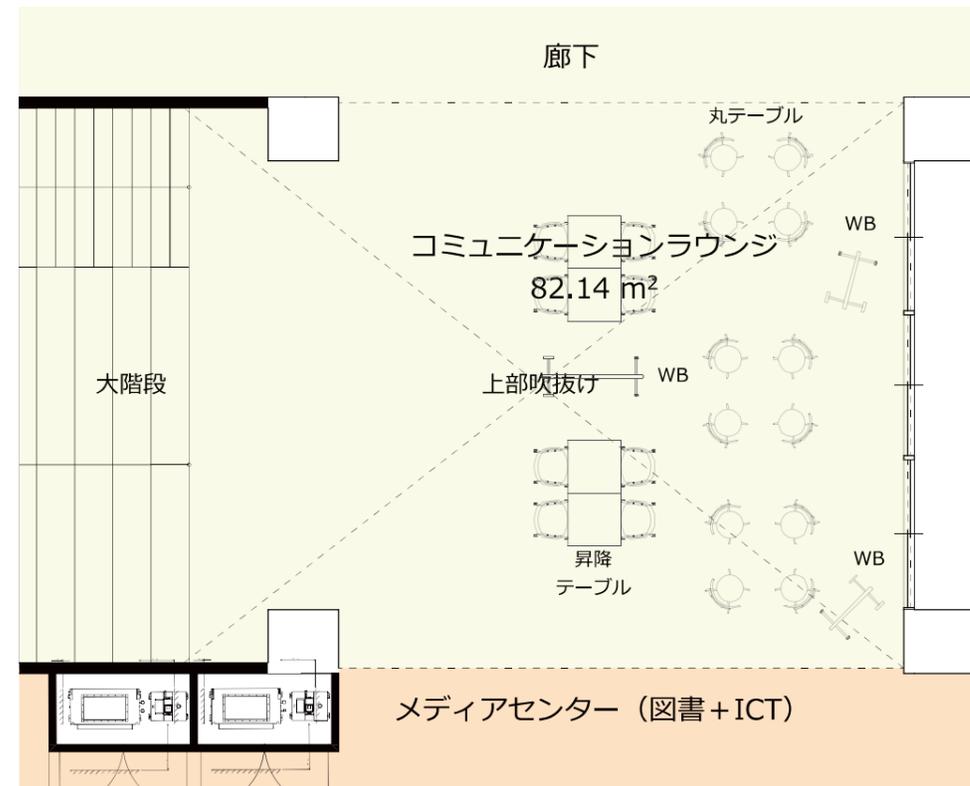
- ・メディアセンターは一部吹抜けとし、上下階のつながりを持たせることで学びの中心の場としての活用を図る。
- ・メディアセンターと廊下・吹抜け上部はガラスパーティションでゆるやかに区切り、明るく開放的な空間とする。
- ・貸出・返却カウンターは全体が見渡しやすく、分かりやすい位置に設置する。
- ・書架は学年に応じて使いやすく分類しやすいように高さや形状を決め、適切に配置する。
- ・メディアセンター内で調べ学習などができるよう、机と椅子を適切に配置する。
- ・ICT教室は図書室と一体的に整備し、情報学習に役立てる空間づくりをめざす。
- ・メディアセンター内に階段ベンチを設け、読書や読み聞かせに活用できるよう配慮する。

□地域交流室・多目的ホール

- ・集会やイベント利用など多目的に利用できるよう整形の室形状とし、フレキシブルな空間構成とする。
- ・室同士または廊下と一体的に利用できるように設えとし、交流の活動の幅を広げる計画とする。

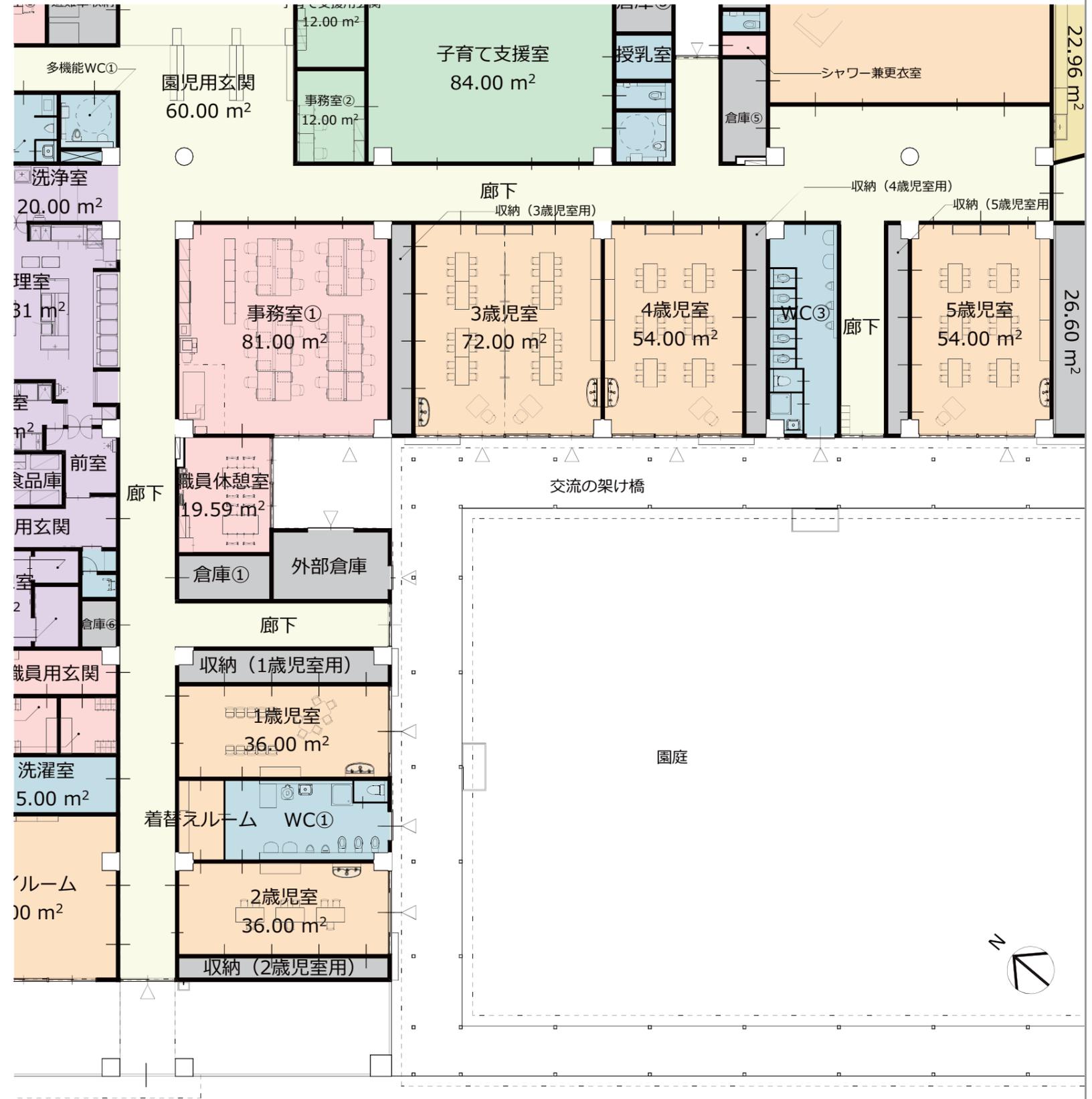
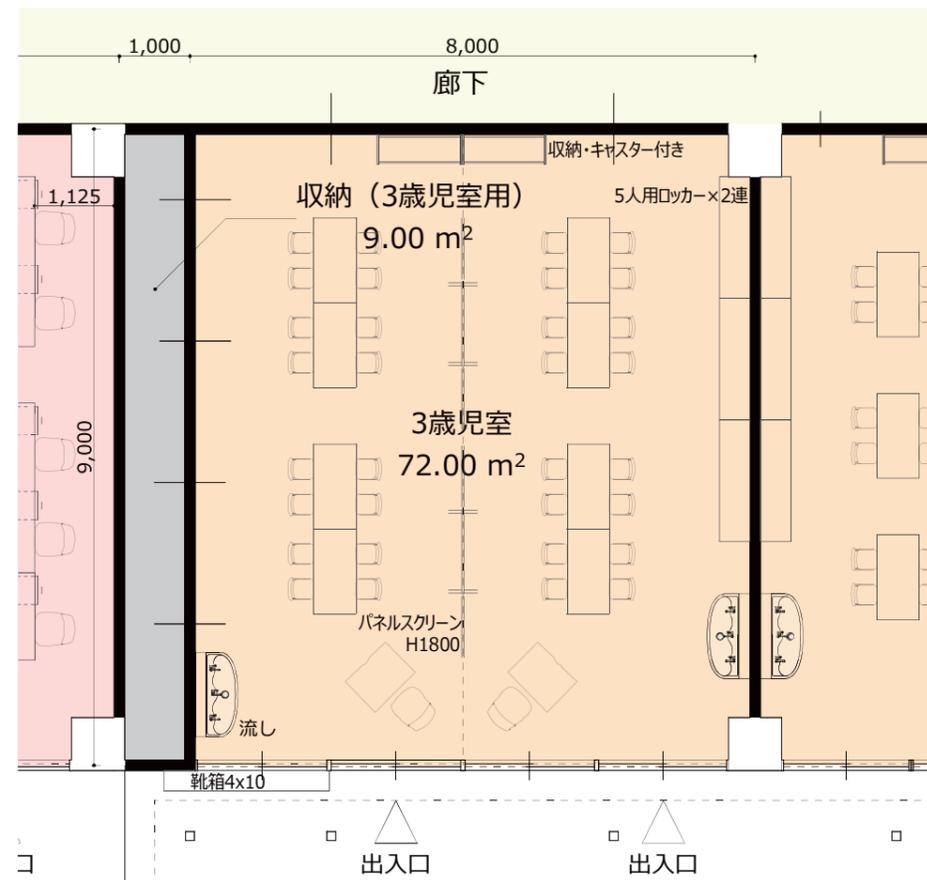
□コミュニケーションラウンジ

- ・ 児童生徒と学校職員の交流の場として整備する。
- ・ 各階へつながる大階段と職員室をつなぐ位置に設けることで、日常的な交流の促進を図る。
- ・ コミュニケーションラウンジはライトコートに面して配置することで、明るく開放的な空間となるよう配慮する。
- ・ ホワイトボードや可動式のテーブル、椅子を設けることで、学習や交流にフレキシブルに対応できる設えとする。
- ・ 上部は吹抜けとすることで上下階のつながりをつくり、異学年交流の促進も図る。



保育室

- ・ 保育室は南面に窓を設けることで、日中の採光を確保する。
- ・ 各保育室定員にあわせロッカーや机、椅子を適切に配置する。
- ・ 各保育室には専用の収納を設け、利便性に配慮する。
- ・ 1, 2歳児の保育室は着替えルームやWCに隣接させて配置することで動線の短縮化を図る。
- ・ 3歳児室は間仕切りパネルによって2室に分割できるよう、他の保育室より広く計画する。
- ・ 各保育室から直接園庭へ出入りできるよう、園庭側に靴箱を設置する。



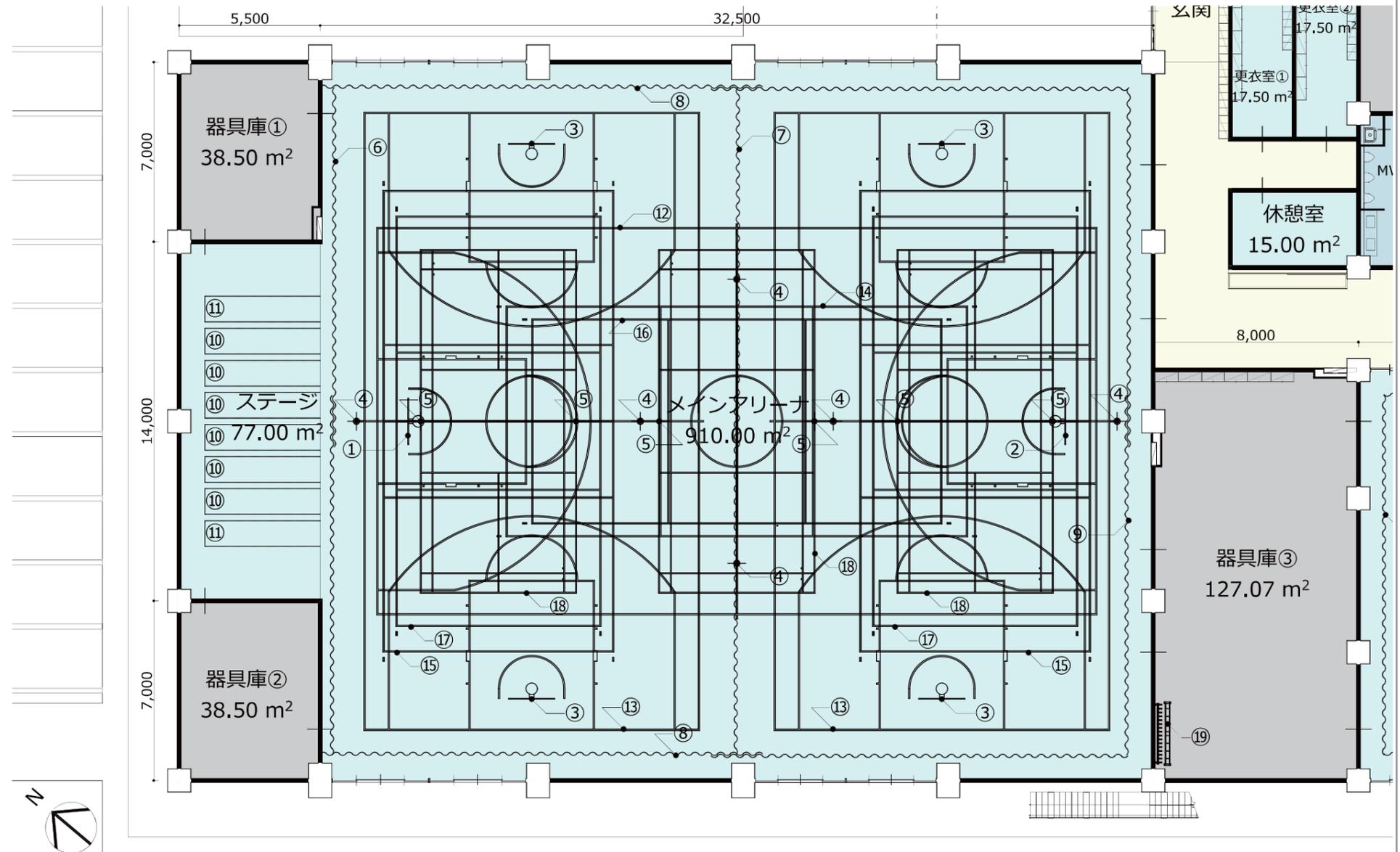
□遊戯室

- ・ さまざまな用途で使用できるよう、正方形に近いホール型で計画し、フレキシブルな空間となるよう配慮する。
- ・ 人だまりスペースとして遊戯室前ホールを設け、保護者観覧時の混雑を緩和させる計画とする。
- ・ 遊戯室前ホールの露出柱は円形とすることで、園児の怪我防止に配慮する。
- ・ 遊戯室から直接出入りできる園児用テラスを設け、安全対策のためフェンスで区画を行う。
- ・ 屋外プールは日差しや雨避けのために屋根付きで整備する。
- ・ 屋外プール使用時は園児の着替えや準備に遊戯室を利用できるように、直接出入りできる出入口を設ける。
- ・ 遊戯室から直接利用できる倉庫を設け、利便性の向上を図る。



□メインアリーナ

- ・ ステージ下に椅子収納スペースを設け、台車によって引き出す計画とする。
- ・ 器具庫を3か所設け、器具庫③はサブアリーナ兼用の器具庫として動線計画を行う。
- ・ メインアリーナにはバスケットボール、バレーボール、バドミントンのコートラインを適切に計画する。
- ・ 競技用ネットの支柱は器具庫③に納める計画とし、支柱整頓用の棚を設ける。



メインアリーナ

NO	数量	仕様
1	1基	吊下前方折畳式バスケット台 電動有線式 プラスチック板 バックボード高低装置付 落下衝撃緩衝装置付
2	1基	水平引込折畳式バスケット台 シングルフレーム方式 フロアーハンドル式 プラスチック板 バックボード高低装置付
3	2対	水平引込折畳式バスケット台 シングルフレーム方式 フロアーハンドル式 プラスチック板 バックボード高低装置付
4	3対	バレー用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
5	3対	バドミントン用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
6	1張	ステージ用防球ネット 両開ロープ操作式
7	1張	セパレート用防球ネット 両開ロープ操作式
8	2張	側面用防球ネット 両開手引き式
9	1張	妻面用防球ネット 両開手引き式
10	6台	椅子収納台車 キャスター浮上式 L=4,500 飾り板額縁タイプ付
11	2台	万能台車 キャスター浮上式 L=4,500 飾り板額縁タイプ付

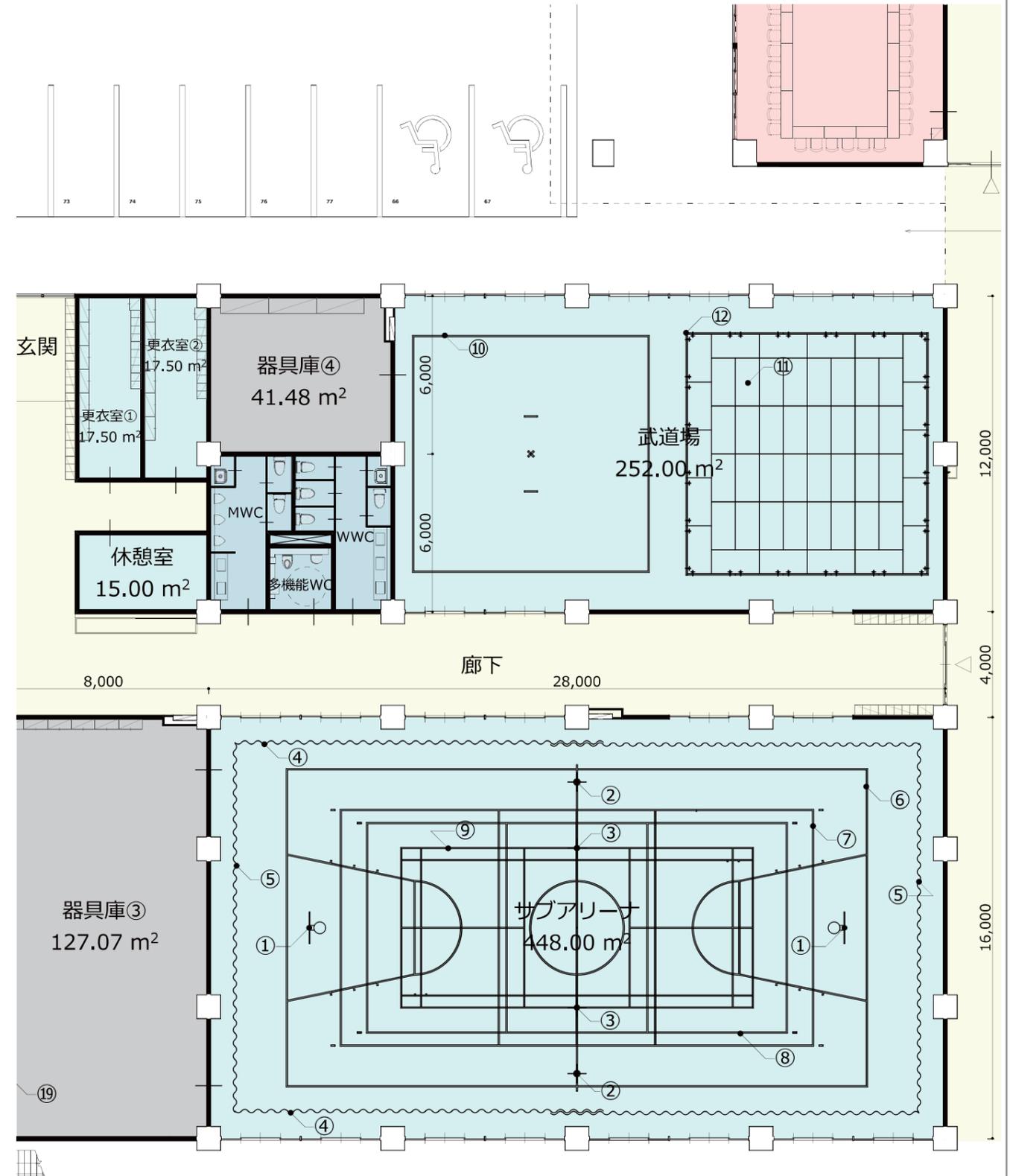
NO	数量	仕様	ライン巾
12	1面	(メイン) バスケットボールコート 28,000×15,000 全線	50mm
13	2面	(サブ) バスケットボールコート 24,000×13,000 全線	50mm
14	1面	(メイン) 一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線	50mm
15	2面	(サブ) 一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線	50mm
16	1面	(メイン) 小学校6人制バレーボールコート 16,000×8,000 全線	50mm
17	2面	(サブ) 小学校6人制バレーボールコート 16,000×8,000 全線	50mm
18	3面	バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 全線	40mm
19	1台	支柱整頓棚(壁面固定式) 直立15本用	
	2対	バレー支柱 カーボンファイバー製 ハンドル高低式 ネット巻付 SG 日本バレーボール協会推薦品	
	3対	マルチ支柱 ホール式 アジャスター付 バドミントン、インディアカ、ソフトバレー兼用支柱 日本バドミントン協会検定品	

□サブアリーナ

- ・ 器具庫を設け、メインアリーナと兼用で運用する。
- ・ サブアリーナにはミニバスケットボール、バレーボール、バドミントンのコートラインを適切に計画する。
- ・ 競技用ネットの支柱は器具庫③に納める計画とし、支柱整頓用の棚を設ける。

□武道場

- ・ 専用の器具庫を設け、武道場から直接出入りできる計画とする。
- ・ 武道場には剣道及び柔道のコートを適切に計画する。



サブアリーナ

NO	数量	仕様
1	1対	水平引込折畳式バスケット台 シングルフレーム方式 フロアーハンドル式 ミニプラスチック板
2	1対	バレー用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
3	1対	バドミントン用床止金具 フローリング用 完全落蓋型 亜鉛ダイカスト製
4	2張	側面用防球ネット 両開手引き式
5	2張	妻面用防球ネット 片開手引き式

NO	数量	仕様	ライン巾
6	1面	(メイン) ミニバスケットボールコート 22,000×12,000 全線	50mm
7	1面	(メイン) 一般6人制バレーボールコート 18,000×9,000 全線	50mm
8	1面	(メイン) 小学校6人制バレーボールコート 16,000×8,000 全線	50mm
9	1面	バドミントンダブルスコート 13,400×6,100 全線	40mm
	1対	バレー支柱 カーボンファイバー製 ハンドル高低式 ネット巻付 SG 日本バレーボール協会推薦品	
	1対	マルチ支柱 ホール式 アジャスター付 バドミントン、インディアカ、ソフトバレー兼用支柱 日本バドミントン協会検定品	

武道場

NO	数量	仕様	ライン巾
10	1面	剣道コート 9,000×9,000 全線	50mm
11	50枚	柔道畳 安全ソフト畳 スベリ止付	
12	1組	柔道畳寄せ枠 埋込金具スプリング式 50畳用	